

◆学習の目的

子ども発達学科では、入学前教育として以下のように課題学習（推薦図書含）を用意しました。これは、入学後の学修を円滑に進めるために必要な基礎学力をつけるためのもの、また入学後の学修に関心を高めるためのものです。高校までの学習で培った力を再確認し、補充が必要な部分は入学前に補えるように取り組んでください。そして、入学後の子ども発達学科での学びをイメージし意欲や関心が高まることを期待しています。

◆課題学習について

同封の封筒にて令和7年3月14日(金)必着で課題を郵送してください。(切手を貼ること)

分野	課題学習名	目的	学習方法・留意点
保育 義務教育 特別支援教育	〈課題1〉 子ども学に関わる課題 (必修)		〈課題1〉 別紙の指示の通り進めてください。子ども発達学科の入学前教育では、まずこの課題を最優先に進めてください。3月28日の「入学前セミナー」では、この課題についてのディスカッションを行います。
	〈課題2〉 音楽に関わる課題 (必修)	〈課題1〉 子ども学を学ぶ上での心構えや興味関心を高めること。	〈課題2〉 別紙の指示の通り進めてください。*提出は4ページ目のみです。この内容を理解しておくことで、入学後の授業での学びも円滑に進みます。解説をよく読みながら考えてみてください。
	〈課題3〉 美術に関わる課題 (任意)	〈課題2・3・4〉 基礎を押さえることで苦手意識を和らげたり関心を高めること。	〈課題3〉 別紙の指示の通り進めてください。この内容は入学後の授業にもつながっていきます。是非、楽しむことを大切に取り組んでください。
	〈課題4〉 国語・数学に関わる課題 (任意)		〈課題4〉 「基礎学習」のページから以下の内容に取り組むことを推奨します。 ☆国語(漢字編1~3・読解力編1~6) ☆数学(入門1~3) 大学の学びを始めるにあたっての基礎力を確かめるものです。「確認テスト」のページには、国語と数学の問題も用意されています。積極的に取り組んでみてください。自分の現在の力を試してみましよう。不明な点がある人は質問を受け付けますので、大学に問い合わせてください。

○推薦図書○

以下の推薦図書は、子ども学を学ぶ上で重要な各分野毎のおすすめの本です。入学前に専門分野について理解を深め、大学での学びに役立てるため少なくとも1冊は読んでおきましょう。読んだ本1冊の簡単な感想を、課題1の用紙に記入してください。

〔保育・幼児教育分野〕

- ①内田伸子(1998)『まごころの保育 堀合文子のことばと実践に学ぶ』小学館(ISBN:4098373289)
- ②J.J,ヘックマン(2015)『幼児教育の経済学』東洋経済新報社(ISBN:4492314636)
- ③和久田学(2020)『科学的に考える子育て』緑書房(ISBN:4895314227)

〔義務教育分野〕

- ④堤 未果(2011)『社会の真実の見つけかた』岩波ジュニア新書(ISBN:4005006736)
- ⑤外山滋比古(1986)『思考の整理学』ちくま文庫(ISBN:4480020470)
- ⑥新井紀子(2019)『AIに負けない子どもを育てる—21st Century Children』東洋経済新報社(ISBN:4492762507)

〔特別支援教育分野〕

- ⑦宮口 幸治(2022)『「立方体が描けない子」の学力を伸ばす』PHP新書(ISBN:4569853234)
- ⑧山口真美(2020)『こころと身体の心理学』岩波ジュニア新書(ISBN:4005009239)
- ⑨平岩 幹男(2019)『発達障害: 思春期からのライフスキル』岩波ジュニア新書(ISBN:4005009085)

○その他○

入学前セミナーでは、国語の小テスト(漢字・読解力 30分程度)を行います。これは入学後の学習サポートを円滑に進める為のもので、成績や評価に関わるものではありません。なお、入学後には、学習に不安のある人のための基礎力補充のための講座が用意されています。